



ベタニヤホームだより

社会福祉法人 ベタニヤホーム
 〒130-0022 東京都墨田区江東橋5-4-1
 電話 03 (3631) 0 4 4 4
 FAX 03 (6659) 6 6 7 2
 発行責任者 網 春 子



2022年秋号 第143号

創立99周年記念礼拝 「心はどこにあるのか」

(ルカ福音書12章32節〜38節)
 日本福音ルーテル雪ヶ谷教会
 牧師 田島 靖則
 (社会福祉法人ベタニヤホーム評議員)



1923 (大正12) 年9月1日、マグニチュード7.9の激震が関東地方を襲い、首都東京の三分の二が焼失。死者、行方不明者は10万5000人という史上最悪と言われた自然災害、いわゆる関東大震災が発生しました。日本の首都を襲った大災害のニュースが世界中に伝えられると、YMCA、YWCA、救世軍、そしてルーテル教会などのキリスト教系団体による被災者救済のために、それぞれの宣教母体から多くの支援金が集められました。日本福音ルーテル教会は、当時の金額で3万5000ドルをアメリカのルーテル教会から受け取り、この支援金をもとに被災者支援にあたりました。この支援事業がのちに、東京老人ホームと私たちベタニヤホームの働きに引き継がれて、今に至っています。

小さな群れよ、恐れるな。あなたがたの父は喜んで神の国をくださる。

キリスト教は、今でこそ世界最大の信徒数を誇る宗教になっていますが、イエスの弟子集団として誕生したばかりのころは、パレスチナの限られた地域でだけ認識される小さなグループにすぎませんでした。しかし、無名の小集団であることを気に病むことはない！とキリストは言われます。問題は、自分達が無名で少数派であることではない！問題は、自分達がおこなっている活動が、神の意志を表現しているかどうか？という点にあります。どんなに非効率であっても、全く流行らなくても、それが神の意志を表す活動であると信じていることができ、さらに自分達とは全く違う価値観



を持つ人たちからも一目置かれる活動であるならば、それは行うに値する活動だということになります。さまざまな宗教の問題が取り沙汰される今だからこそ、明らかにしなければならぬことは、私たちの活動が単に自分達の利益のみを追求するものであってはならないということです。つまり、自分達の信仰を追求するのみであるならば、それはキリスト教の活動とは言えないということなのです。キリストは、私たちにとって最も大切なことは「神と人を愛すること」であると言われました。この「人を愛すること」については、自分達と全く違う価値観、全く違う信仰を持つ人たちについてもその対象となります。つまりキリスト教徒であることは、様々な生き方の肯定が、その前提としてあることを認めることでもあります。

自分の持ち物を売り払って施しなさい。擦り切れることのない財布を作り、尽きることのない富を天に積みなさい。そこは、盗人も近寄らず、虫も食い荒らさない。あなたがたの富のあるところに、あなたがたの心もあるのだ。

「あなたがたの富のあるところに、あなたがたの心もある」というキリストの鋭い指摘には、全く異論の出ないところかと思えます。お金の生きた使い道については、さまざまに言い古された言葉もあると思いますが、寄付や募金によって当たり前の生活が成り立たない人々への支援を行うこと、それが「富を天に積む」お金の使い道であると教えているのです。お金とい

うものは、使ってしまったえば消えてなくなるといのが相場だと思いますが、それが生きた使道であれば、使えば使うほど天にも地にも宝を積むことになるというのが、キリスト教の理解です。

腰に帯を締め、ともし火をともしていなさい。主人が婚宴から帰って来て戸をたたくとき、すぐに開けようと待っている人のようにしていなさい。

後になって悔やむことのないように、常に備えていなさいとキリストは言われます。キリスト教には、再びキリストが私たちの前に現れる時が来るという「再臨信仰」があります。しかしキリストの再臨は、この2000年間実現していません。それは私たちの時間の概念で「すぐにある」とか「ずっと先だ」とか考えることができるような事柄ではないと理解すべきでしょう。「すぐに起る」とも言えるし、「まだまだ先だ」とも言うことができます。だからこそ、常に備えていなければならぬ。イエスの時代のパレスチナの婚礼は、その祝宴が一週間も続いたと言われています。いつ終わるともされない祝宴ですが、どこかのタイミングで人々は退席し、帰宅する。婚宴に出かけた主人を待つ使用人は、その時が来るまで24時間体制で待っていないければなりません。現代人である私たちは、そういういった主従関係に違和感を覚えるわけですが、それが封建時代の使用人の責務であつたということなのでしよう。誰もが鍵を持って外出できる現代と違って、施錠さ

れた扉を帰宅したものが自分で開けることは出来なかつた。それだけでなく、どの町もどの家も夜間は漆黒の闇の中に沈んでいたのですから、誰かが灯火を灯して玄関先に出していなければ、自宅へと帰り着くことも難しかったのだと思います。月明かりのある夜であれば、そんなこともなかったかもしれませんが、月も星も見えない夜がどのような闇を滲せていたのか、電気のない世界を想像できない私たちには分からないのです。



永年勤続者の表彰

このことをわきまえていなさい。家の主人は、泥棒がいつやって来るかを知っていたら、自分の家に押し入らせはしないだろう。あなたがたも用意していなさい。人の子は思いがけない時に来るからである。

イエスの語る「泥棒のたとえ」は、日本語に訳すときに少し意識されています。原語のギリシャ語では、「自分の家に押し入らせる」という箇所は「自分の家に穴を掘って入らせる」となっています。2000年前のパレスチナの泥棒は、施錠された扉の下の地面を掘って侵入したということなのです。つまり、すっかり寝込んでいれば泥棒たちが穴を掘る音に気づかないけれど、泥棒がいつ来るか分かっていたら、撃退するのも簡単でしょう。

しかし私たちは、「その日その時」がいつなのかを知らずには出来ません。だから私たちはやるべきことを先延ばしにすることなく、備えているべきなのです。

現在ベタニヤホームで働いていらっしゃる皆さんは、地域の防災を担う役割をも負っていらっしゃると思います。このベタニヤホームの歴史を振り返ってみると、それは改めて自分達に期待されている役割であると、理解していただけることでしょう。

地域の子どもたちのために。地域の親子のために。地域で共に暮らす方々のために。皆さんが使命を果たすことができるように、キリストから必要な力が与えられますように。

給食室だより



食欲の秋、実りの秋です。こひつじ保育園では9月のお誕生日献立に「コアラライス」を作りました。カレー味のご飯で出来た顔、肉団子の耳、海苔で目と鼻をつけました。

給食の時間各クラスに食べている様子を見に行くと「かわいい!」「どこから食べようかな?」と子どもたちが目でも食事を楽しむ様子が見られました。

翌日、「コアラライスがおいしかった事を給食室の先生に伝えたい!」と給食室までお手紙を届けに来てくれた子がいました。

「また作ってね」と少し恥ずかしそうに渡してくれたお手紙。給食職員一同、幸せな気持ちになりました。これからも子どもたちの記憶に残るような食事を提供できるよう、頑張りたく強く思いました。



令和4年度永年勤続者表彰
— 記念礼拝終了後は、毎年恒例の永年勤続者表彰を行いました。今回表彰を受けた職員は8名で、勤続30年、15年、10年の節目を迎えた次の方々です。
田内 緑さん・荒井靖広さん(以上、菊川保育園)、徳田純子さん・上田直美さん・清水夏生さん(以上、富士見保育園)、田村明日香さん・横幕明子さん・齋藤貴也さん(以上、こひつじ保育園)
皆さま、おめでとうございます。これからも健康に留意され、ますますのご活躍を祈念しています。

令和3年度を振り返って（事業及び決算概要）

令和3年度も、キリスト教の隣人愛の精神と社会福祉の理念に基づく社会福祉法人ベタニヤホームの基本理念の実現と使命を果たすべく、また、社会福祉法人として法に基づく適正な組織運営とガバナンスの強化を図るため、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けつつも、利用者各位をはじめ地域の支援者、関係団体・機関の皆様のご理解とご協力のもと、役員が一丸となって取り組みを行いました。

一、法人創立100周年記念事業の準備をすすめる

令和3年度から、各施設から職員が参加して準備委員会を組織し、職員への周知と参加意識の醸成を図るため、創立100周年記念事業に関するアンケートを企画・実施し、その結果をもとに創立100周年記念事業の企画と実施方法、具体的企画案について検討を行いました。令和4年度には2回目のアンケートを行い、企画を具体化するとともに、法人、施設にゆかりのある方々や役員等に参画を得て創立100周年記念事業実行委員会を立ち上げることとなりました。

二、社会的養護中長期計画の策定をすすめる

新型コロナウイルス感染症の影響により、当初計画した策定作業を行うことができませんでした。

三、老朽化が進む富士見保育園舎の建替え事業を開始する

建替え準備委員会による設計・監理業務の指名型プロポーザルの提案・実施後、建替え設計・監理業者を決定することができました。職員の声を反映した設計図面を作成し、江戸川区との事前協議を経て補助金申請を行い、令和4年4月1日付で補助内示が得られました。令和4年度は建替え委員会を設置し、工事やこれからの富士見保育園について様々な検討を行っていきます。着工は今秋の予定です。

最後に教会との関わりでは、日本福音ルーテル聖パウロ教会には、コロナ禍においても法人全体で実施する礼拝の会場として、また、月例開催の施設連絡協議会においても御言葉とともにお祈りをいただきました。そして、日本福音ルーテル教会の現役、引退の教職の方々から、一斉改選後も理事・評議員として法人運営に参画いただけただけのほか、各施設の担当牧師としてお力添えをいただきました。心より感謝申し上げます。

第三号第一様式

法人単位貸借対照表

令和 4年 3月31日現在

法人名：社会福祉法人 ベタニヤホーム

(単位： 円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	231,011,299	213,198,551	17,812,748	流動負債	65,389,065	85,313,154	▲ 19,924,089
現金預金	165,172,757	178,393,451	▲ 13,220,694	事業未払金	18,328,129	9,458,067	8,870,062
事業未収金	22,497,123	10,899,896	11,597,227	1年以内返済予定設備資金借入金	13,118,000	10,382,000	2,736,000
未収補助金	41,355,580	22,130,494	19,225,086	未払費用	166,989	0	166,989
立替金	23,544	346,413	▲ 322,869	職員預り金	5,535,968	10,083,067	▲ 4,547,119
前払費用	363,100	69,419	293,681	賞与引当金	28,240,000	55,390,000	▲ 27,150,000
1年以内期末の長期前払費用	1,449,165	1,280,050	169,115				
仮払金	0	78,828	▲ 78,828				
固定資産	150,000	0	150,000	固定負債	195,443,652	209,863,946	▲ 14,420,294
基本財産	2,028,396,465	2,043,206,708	▲ 14,810,243	設備資金借入金	136,560,000	149,678,000	▲ 13,118,000
土地	1,044,617,915	1,087,917,990	▲ 43,300,075	退職給付引当金	58,883,652	60,185,946	▲ 1,302,294
建物	69,150,440	69,150,440	0	負債の部合計	260,832,738	295,177,100	▲ 34,344,362
その他の固定資産	975,467,475	1,018,767,550	▲ 43,300,075	純資産の部			
建物	983,778,550	955,288,718	28,489,832	基本金	160,328,374	160,328,374	0
構築物	436,063	663,573	▲ 227,510	国庫補助金等特別積立金	642,915,087	689,627,683	▲ 26,712,596
構築物	31,561,910	35,840,213	▲ 4,278,303	その他の積立金	869,846,819	834,461,737	35,385,082
車輜運搬具	1,186,811	1,072,139	114,672	人件費積立金	216,957,000	196,957,000	20,000,000
器具及び備品	21,491,138	22,634,056	▲ 1,142,918	修繕積立金	47,300,000	47,300,000	0
権利	74,984	74,984	0	備品等購入積立金	6,500,000	6,500,000	0
ソフトウェア	187,540	270,660	▲ 83,120	保育所施設・設備整備積立金	393,904,201	382,904,201	11,000,000
退職給付引当資産	58,883,652	60,185,946	▲ 1,302,294	施設整備等積立金	39,100,000	35,000,000	4,100,000
人件費積立資産	216,957,000	196,957,000	20,000,000	施設整備費積立金	70,647,485	70,647,485	0
修繕積立資産	47,300,000	47,300,000	0	施設拡充積立金	84,231,183	84,231,183	0
備品等購入積立資産	6,500,000	6,500,000	0	職員共済会積立金	2,456,098	2,171,016	285,082
保育所施設・設備整備積立資産	393,904,201	382,904,201	11,000,000	林基金積立金	8,750,852	8,750,852	0
施設整備等積立資産	39,100,000	35,000,000	4,100,000	次期繰越活動増減差額	325,484,716	296,810,365	28,674,351
施設整備費積立資産	70,647,485	70,647,485	0	(うち当期活動増減差額)	64,059,433	20,188,843	43,870,590
施設拡充積立資産	84,231,183	84,231,183	0	純資産の部合計	1,998,574,996	1,961,228,159	37,346,837
職員共済会積立資産	2,456,098	2,171,016	285,082				
林基金積立資産	8,750,852	8,750,852	0				
差入保証金	50,000	50,000	0				
長期前払費用	49,273	25,050	24,223				
その他の固定資産	10,360	10,360	0				
資産の部合計	2,259,407,734	2,256,405,259	3,002,475	負債及び純資産の部合計	2,259,407,734	2,256,405,259	3,002,475

母子生活支援施設ベタニヤホーム

●ホームカミングデイを開催

令和4年9月24日、退所者と元職員をお招きしてホームカミングデイを開催しました。

記録に残っている昭和25年から、今年の7月に退所された方と元職員の合計550名以上の方に招待状を送らせていただきました。宛先人不明で戻ってきた招待状もかなりの数でしたが、総勢48名が参加して下さいました。

一番昔のベタニヤホームを知っている方は、昭和25年に入所されたお姉さんと弟さんでした。戦後の白黒写真を80才の弟さんと先日退所したばかりの高校生男児や27歳のお母さんと一緒に見ながら「これは私です。姉はこっちで、これが母です」等とお話を伺い、ベタニヤホームの歴史、日本の歴史に思いを馳せました。また「ベタニヤホームでの生活が基盤となり、今があります」と言ってくださったお母さんや「乳幼児期に入所していたためベタニヤホームの記憶はなかったけれど、今日来てみて記憶が蘇ってきました」と27歳のお嬢さんのお話しもいただきました。参加された方々には、お楽しみのお菓子やゲーム、居室の見学をしていただきました。

楽しい時間はあっという間に過ぎますね。来年はベタニヤホームの100周年。次回の開催には、更に多くの方に来ていただきたいと思いい、今から企画に向けて気合が入ります!!



菊川保育園

●夏祭り

長引くコロナ禍ではありますが、花火大会やお祭りも徐々に開催されるようになりました。それでも季節のお楽しみが例年通りとはいかない今年の夏。子どもたちに少しでも「夏」を感じてもらえたらと、水鉄砲で行う射的、盆踊り、ヨーヨー釣りなど夏祭りらしい出店を子どもたちと一緒に用意しました。また、今年はいつも以上に給食室と連携を取り、子どもたちの希望のかき氷屋さんも出店。ぶどうとオレンジ、二種類の味から自分で選んだかき氷を楽しみました。昼食とおやつにも、屋台風メニューを提供し、一日を通して「お祭り」を感じてもらえるように工夫しました。試作を重ね、調理の努力も実り、子どもたちは大喜び。普段よりもよく食べる子どもが多く、当日は大成功となりました。保育と給食室の連携により、一緒に盛り上げることができました。

また別の日、「採れたよー!」と給食室に元気な声でやってくる子どもたち。一生懸命育てた野菜を小さな手で大事そうに持ってきます。今年の夏は、トマト、ズッキーニ、いちじく、ブルーベリーなどを収穫することができました。ズッキーニやトマトは夏野菜カレーに入れたり、いちじくやブルーベリーはジャムにして提供しました。普段苦手な野菜も、みんなで育て収穫した野菜だと挑戦してくれる子が多いです。苦手克服のきっかけづくりに繋がっていると感じています。

「子どもたちが自ら体験し、感じたことを『食』に繋がられるように、また、五感で『食』を楽しめるように、職員みんなで力を合わせてこれからもサポートしていきたいです。」給食職員より



「かき氷おいしいな」



「メニューはタコ焼き、焼きそば、チョコバナナ」

富士見保育園

●どんぐり拾いから広がる遊び●

富士見保育園の園庭にはどんぐりの木が立っています。週末の雨風でどんぐりがたくさん落ちていて、たんぼ組（2歳児クラス）の子どもたちが拾って、園庭にある丸テーブルの上に集め始めました。そしてたくさんどんぐりが集まると、葉っぱの上にとんぐりを綺麗に並べて何か作っている様子の子がいたので、「何を作っているの?」と尋ねると、「お弁当だよー」と嬉しそうに教えてくれ、子ども豊かな発想に驚かされました。

後から園庭に出てきたつぼみ組（1歳児クラス）の子どもたちも、たくさん集まっているどんぐりを見つけると大喜びで、触ったり並べたりを楽しんでいました。そして、たんぼ組さんがつぼみ組さんとどんぐりを手渡してあげたり、「これはどんぐりっていうんだよ」と教えてあげたりと異年齢の温かな関わりも見られ、秋の自然を通して様々な遊びや関わりが生まれていくのを目の当たりにし、季節のすばらしさを感じました。これからも子どもたちの遊びを見守りながらも、声を掛けたり遊びに誘ったりしながら、季節の自然を大切にしたいと思えます。



こひつじ保育園

●お兄さん、お姉さんまた来てね●

卒園児ボランティアとして小学生のお兄さん、お姉さんが来てくれました。お顔を覗きながら手を繋ぎ、一緒に遊ぼうと誘いかけたり、緊張して離れた場所へ向かうも視線は釘付けで、気になる様子です。その日はベランダで水遊びをしていました。

小学生が着替えのお手伝いに来てくれると、嬉しそうに取り組む子どもたち。Aくんは「一人で出来るよ!」と言うかのように得意気な表情でスポンを履いて見せていました。保育者だけでなくお姉さんにも誉めてもらえ、照れくさそうに微笑みます。

一方で、普段は一人で上手にスポンを履けるBちゃんですが、「やっせて〜。」と甘えて履かせてもらう可愛らしい姿も見られました。

お手伝い以外にも、ふれあい遊びや積木などでたくさん遊んでもらえて特別な時間を過ごした子どもたち。今後とも人と関わることの楽しさを感じられるよう、卒園児や地域の方々との交流の場を大切にしていきたいです。



法人本部からの報告

◆理事会開催報告

〈第1回〉

令和4年6月9日に、令和4年度第1回理事会をリモートで開催し、左記の議案すべてについて決議を受け承認されました。

議案第1号 令和3年度母子生活支援施設ベタニヤホーム拠点区分資金収支補正予算（補正第3号）

議案第2号 令和3年度事業報告及び決算報告の承認について

議案第3号 令和4年度法人本部拠点区分資金収支補正予算（補正第1号）（職員共済会積立金の取り崩しについて）

議案第4号 社会福祉法人ベタニヤホーム育児・介護休業等に関する規則の一部改正について

議案第5号 社会福祉法人ベタニヤホーム賃金規程の一部改正について

議案第6号 役員等賠償責任保険契約について

議案第7号 次期監事選任候補者の推薦について

議案第8号 令和4年度第1回評議員会の招集について

議案第9号 令和4年8月25日に、令和4年度第2回理事会をリモートで開催し、左記の議案すべてについて決議を受け承認されました。

議案第10号 令和4年度母子生活支援施設ベタニヤホーム拠点区分資金収支補正予算（補正第1号）

議案第11号 社会福祉法人ベタニヤホーム経理規程の一部改正について

議案第12号 富士見保育園改築工事に伴う競争入札の実施について

議案第13号 富士見保育園舎建替え費用の借入れに係る資金計画の変更について

議案第14号 創立100周年記念事業実行委員会の設置について

議案第15号 令和4年度第2回評議員会の招集について

議案第16号 令和4年9月12日に、令和4年度第3回理事会をリモートで開催し、左記の議案すべてについて決議を受け承認されました。

議案第17号 富士見保育園改築に係る入札参加業者の選定について

議案第18号 富士見保育園改築に係る工事の予定価格の決定について

議案第19号 富士見保育園改築に係る工事の予定価格の決定について

議案第20号 令和4年度事業報告及び決算報告の承認について

議案第21号 令和4年度法人本部拠点区分資金収支補正予算（補正第1号）（職員共済会積立金の取り崩しについて）

議案第22号 令和4年度第2回評議員会をリモートで開催し、左記の議案について決議を受け承認されました。左記のほか理事会で決議のあった議案についても報告を行いました。

議案第23号 令和4年度母子生活支援施設ベタニヤホーム拠点区分資金収支補正予算（補正第1号）

◆ご寄附

〈母子生活支援施設〉

コストコホールセールジャパン千葉ニュータウン倉庫店（パラソル）、特定非営利活動法人 ソシオキユアアンドケアサポーター（化粧品一式）、日本ヒルトン株式会社（使い捨て容器）、ロクシオンジャパン株式会社（リップ・サンブル）、株式会社ブルマー

（鶏肉）、江東橋5丁目匿名（釣り具）、花王株式会社コーポレート戦略部門社会貢献部（洗濯洗剤・ハンドソープ・消毒スプレー）、株式会社包む（紙袋・ラッピング用品）、丸山富美江（金二万円）

◆菊川保育園 在園児保護者（絵本）、在園児保護者（紙パンツ）、在園児保護者（Tシャツ）、増地良枝（紙袋）、武田（お菓子）、渡部（お菓子）

◆富士見保育園 長野利光（Tシャツ）、卒園児保護者（タオル）

◆こひつじ保育園 在園児祖母（オクラ苗1苗）、在園児保護者（封筒138枚）、在園児保護者（おむつ2袋）、在園児保護者（かぶと虫1匹・くわがた虫3匹）

◆法人本部 綱 春子（金二万円）

◆地域公益活動（ハンストリ）協力団体・個人（6月24日～9月22日）

一般社団法人全国食支援活動協力会（食支援）、認定特定非営利活動法人セカンドハーベス

ト・ジャパン（食品）、フードバンク江東（食品）、社会福祉法人おあしす福祉会（食品）、公益財団法人キュービーみらいたまご財団（バスタクシー）、成田久男（米）、日新製糖株式会社（上白糖）、株式会社王将フードサービス（無料お子様弁当）、すみだ青空市ヤッチャバ

（米、食品）、日本紙バルブ商事株式会社（備蓄食品）、ストライプバード株式会社（グラノーラ）、モリモト・トラスト株式会社（米）、米国食肉輸出連合会（肉ほか）、サントリー酒類株式会社（食品）、コストコホールセールジャパン千葉ニュータウン倉庫店（食品）

◆ボランティア

◆菊川保育園 石塚美有、小松祥希子、神田未有、山本麻結、河原さゆき、本所高校（育児体験）

◆こひつじ保育園 卒園児ボランティア（並木美香、安藤里枝、坂本杏貴、難波歩夏、太田 舜、伊藤 巧、小松志乃、中尾 仁、奥田和音、森 朱里、吉田早希、鈴木環太、吉尾晴隆、山崎麟太郎、中西樹希、村上こと美、米山稜大）

◆協力ありがとうございました

令和4年7月～令和4年9月まで（敬称略）

保健室だより ～こひつじ保育園～

けがの報告にきたA君…。事情を聞くと、遊びの中でA君がBちゃんの顔に自分の顔を近づけ、それが嫌だったBちゃんに「やめて!」と言われたのに顔を近づけることをやめなかったの、引っこ抜かれてしまったと…。

「そうか、痛かったね…。でもなんでやめてと言われたのにやめなかったの??」と聞くと「だってBちゃんのことが大好きだから!!」と照れくさそうにはにかむA君。引っこ抜かれてしまった痛みよりも、Bちゃんへの溢れる想いが伝わってくるような表情でした。一緒に話を聞いていた園長と思わず笑顔になり、心までほっこりした気持ちになった保育の1コマでした。



編集後記

いつの間にか金木犀の香りが漂う季節となりました。園庭に出ると子どもたちも「いい匂いがあるね」と秋を楽しんでいます。

そして富士見保育園では建替え前の園庭での最後の運動会を迎えます。思い出さばいの園庭には子どもたちが一生懸命練習に励む声が毎日響いています。神様に守られながら無事当日を迎え、一人ひとりが輝く運動会になりますように祈っています。